



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <http://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,919	15.5	538	△4.1	351	53.1	388	43.7
29年3月期第1四半期	10,323	△14.8	561	4.2	229	△45.0	270	56.8

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 343百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △956百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	19.14	19.07
29年3月期第1四半期	10.31	10.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	59,676	21,250	34.2
29年3月期	60,137	21,239	33.8

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 20,406百万円 29年3月期 20,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,500	3.5	1,200	△16.5	800	△16.6	500	37.2	24.62
通期	53,000	3.6	4,400	4.5	3,700	13.9	2,500	31.7	123.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	27,048,200 株	29年3月期	27,048,200 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	6,732,059 株	29年3月期	6,737,059 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	20,311,974 株	29年3月期1Q	26,261,184 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き海外における政治、経済の動向などに不透明感が残るものの、一般的に個人消費や設備投資の持ち直しにより、総じて緩やかな回復基調が見られました。当社を取り巻く事業環境においては、とりわけ日本国内でのインフラ、設備関連需要が堅調に推移しており、米国では堅調な個人消費の下、設備投資需要が底堅く推移しました。

5カ年の中期経営計画の2年目となる当連結会計年度は、高収益体質への回帰、製品ポートフォリオ拡充による成長、真のグローバル企業への組織進化、の経営目標達成に向けた各施策を前年度より引き続き実施し、これまで順調に推移しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、11,919百万円（前年同期比15.5%増）となりました。営業利益につきましては、海外子会社の製品在庫に含まれる利益消去（未実現利益）の一時的な影響により538百万円（前年同期比4.1%減）となりました。一方、経常利益は、351百万円（前年同期比53.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は388百万円（前年同期比43.7%増）となりました。売上高、各利益とも、それぞれ、期初の事業計画通りに推移しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	5,928百万円 (5.7%増)	1,202百万円 (5.5%増)
米州	5,486百万円 (4.3%増)	△78百万円 (前年同期は 10百万円の営業利益)
中国	1,404百万円 (8.9%増)	156百万円 (5.1%増)
アジア	812百万円 (29.4%増)	△16百万円 (前年同期は107百万円の営業損失)
欧州	489百万円 (72.2%増)	△6百万円 (前年同期は 18百万円の営業損失)
その他	480百万円 (— %)	△11百万円 (— %)

(日本)

国内市場では、好調なインフラ関連向け投資需要を着実に捉えたこと、グローバルでの設備投資需要が顕在化し輸出が堅調だったことから、売上高は前年同期に比べて5.7%増の5,928百万円となりました。営業利益は前年同期に比べて5.5%増の1,202百万円となりました。

(米州)

米国では、天然資源マーケットが低調に推移するものの、堅調な設備投資関連の需要を捉えた結果、売上高は5,486百万円（前年同期比4.3%増）となりました。利益につきましては、新基幹システム導入による償却費等を計上したことから、78百万円の営業損失（前年同期10百万円の営業利益）となりました。

(中国)

景気減速にも歯止めが掛かり、低調に推移していた需要にも底打ち感が見えました。その結果、売上高は1,404百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は156百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

(アジア)

韓国ではフラットパネルディスプレイ業界向けのクリーンルーム用クレーンなどの需要を引き続き捉えたこと、その他アジア地域では、サービス事業、ホイスト販売の強化に注力した結果、売上高は812百万円（前年同期比29.4%増）となりました。利益面では効率化策推進の結果、16百万円の営業損失（前年同期は 107百万円の営業損失）となり、改善しています。

(欧州)

ドイツを中心とした設備投資需要の高まりを受け、売上高は489百万円（前年同期比72.2%増）、営業損失は6百万円（前年同期は18百万円の営業損失）となりました。

(その他)

豪州で買収したKito Australia Pty. Ltd. 及びその子会社を平成28年度第1四半期連結会計期間末より連結範囲に含めた結果、売上高は480百万円、営業損失は11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産合計は59,676百万円と前連結会計年度末に対し461百万円減少いたしました。これは、現金及び預金の増加683百万円、受取手形及び売掛金の減少1,792百万円、商品及び製品の増加279百万円、仕掛品の増加323百万円等によるものです。

② 負債

負債合計は38,425百万円と前連結会計年度末に対し472百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金の増加677百万円、短期借入金の増加453百万円、未払費用の減少729百万円、引当金の減少490百万円、長期借入金の減少649百万円等によるものです。

③ 純資産

純資産合計は21,250百万円と前連結会計年度末に対し11百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加107百万円、為替換算調整勘定の減少37百万円、非支配株主持分の減少54百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,069	9,753
受取手形及び売掛金	11,139	9,347
商品及び製品	12,130	12,409
仕掛品	2,019	2,342
原材料及び貯蔵品	1,251	1,333
その他	2,408	2,561
貸倒引当金	△60	△64
流動資産合計	37,960	37,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,507	4,398
機械装置及び運搬具(純額)	5,224	4,992
その他(純額)	2,216	2,221
有形固定資産合計	11,948	11,611
無形固定資産		
のれん	2,363	2,277
その他	5,295	5,357
無形固定資産合計	7,658	7,634
投資その他の資産		
投資有価証券	739	879
繰延税金資産	598	617
その他	1,231	1,249
投資その他の資産合計	2,569	2,746
固定資産合計	22,177	21,993
資産合計	60,137	59,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,438	6,116
短期借入金	9,879	10,332
未払費用	2,411	1,681
未払法人税等	128	144
引当金	944	454
その他	1,221	1,493
流動負債合計	20,023	20,222
固定負債		
長期借入金	14,298	13,649
役員退職慰労引当金	190	197
退職給付に係る負債	2,441	2,465
その他	1,942	1,891
固定負債合計	18,874	18,202
負債合計	38,897	38,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,226	5,225
利益剰余金	16,427	16,534
自己株式	△5,816	△5,812
株主資本合計	19,814	19,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	33	8
為替換算調整勘定	847	810
退職給付に係る調整累計額	△351	△337
その他の包括利益累計額合計	529	481
新株予約権	45	47
非支配株主持分	850	796
純資産合計	21,239	21,250
負債純資産合計	60,137	59,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,323	11,919
売上原価	6,334	7,823
売上総利益	3,988	4,096
販売費及び一般管理費	3,427	3,558
営業利益	561	538
営業外収益		
受取賃貸料	7	7
作業くず売却益	6	7
債務時効益	20	—
その他	21	23
営業外収益合計	57	39
営業外費用		
支払利息	99	98
為替差損	233	—
持分法による投資損失	—	91
その他	55	35
営業外費用合計	388	225
経常利益	229	351
特別利益		
負ののれん発生益	489	—
特別利益合計	489	—
税金等調整前四半期純利益	719	351
法人税等	450	△55
四半期純利益	268	407
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	270	388

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	268	407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△29	△24
為替換算調整勘定	△1,260	△105
退職給付に係る調整額	64	14
持分法適用会社に対する持分相当額	—	52
その他の包括利益合計	△1,225	△63
四半期包括利益	△956	343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△907	340
非支配株主に係る四半期包括利益	△49	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	2,965	5,246	1,199	628	283	—	10,323	—	10,323
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,643	12	89	—	—	—	2,746	△2,746	—
計	5,609	5,259	1,289	628	283	—	13,070	△2,746	10,323
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,140	10	149	△107	△18	—	1,174	△613	561

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△613百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間において、Scaw Metals Pty.Ltd.の全株式を取得したことにより、負ののれん発生益489百万円を計上しております。なお、当該負ののれん発生益は報告セグメントには配分しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	3,347	5,466	1,323	812	489	480	11,919	—	11,919
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,581	20	81	—	—	—	2,683	△2,683	—
計	5,928	5,486	1,404	812	489	480	14,603	△2,683	11,919
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,202	△78	156	△16	△6	△11	1,247	△708	538

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△708百万円には、セグメント間取引消去△151百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△557百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。